



じゃがいものうち通信 NO. 43 2005.3.11

～ 障害者と共に歩む仲間たち～

NPO法人「じゃがいものうち」

〒891-4404 鹿児島県熊毛郡屋久町尾之間136-6

Tel./Fax/0997-47-3588 E-mail/npo-jaga@po.minc.ne.jp

代表 松田 正

来年度に向けて

2月は逃げるといわれているように、通信で新年の挨拶もしないまま、学習会、じゃがいも掘り、タンカンジュース作りと追われている内にもう3月も半ばになってしまいました。

2月27日、上屋久町・屋久町合併の賛否を問う住民投票の結果、両町とも賛成票が多く、屋久島町の誕生となることでしょう。

「じゃがいものうち」は当初から屋久島全体を視野に入れ、活動してきました。が、ともしればマンネリ化し、一番の目的である「障害者にとっての」という部分が少し希薄になっている気がします。この機会に初心に立ち返り、会の趣旨・目的を再確認する必要があると思います。定款には次のように書いています。



(目的)

第3条 本会は、障害児・者が、たとえどんな障害を持っていても、個人の尊厳を達成できる福祉、教育、文化等を創造し発展させていくことにより、すべての人が安心して楽しく暮らしている地域づくりを目的とする。

この会の中心には障害児・者がいます。そのためにも「じゃがいものうち」が障害児・者のたまり場であることが必要です。ただ集まってお茶でも飲みながら話す会でもいいし、たまには一緒にお菓子作りをしてもいいし・・・次年度の行事計画に盛り込むためにも皆さんの力(アイデアとハートetc)をください。(総会は5月に予定しています) (松田)

【ホームページについて】

少々手間取っていますが、まもなくホームページがリニューアルします。障害者にとってパソコンは世界を広げてくれる可能性を持った重要な道具の一つです。体のごく一部しか動かせない人にも、視覚障害の人にも使える方法があります。そんな世界へのデビューということになります。福祉マップもその中に入れられるようただいま制作中です。せっかくのリニューアルならホームページ自体もバリアフリーにしたいのですが、まだ配慮が十分ではありません。ご意見をいただきながら改良・更新していきたいと思っています。お手伝いいただける方募集中です。3月31日公会の予定です。乞う！ご期待 (松田)

参加があり、有意義な学習会となりました。ありがとうございました。今後もいろいろなテーマで学習会を継続し知識を深め、問題点を共有化、その上で作業所等具体化したいものです。(松田)

マップ？

福祉マップ？福祉の地図！何だろう？どんな事だろうと思い参加した。体の不自由な人達にとっての使いやすい場所！設備！を知らせる地図だと。私の解釈法だけど自分達も歳を取るの、少しでも体にやさしい場所を知りたいと思い、参加した。

まず屋久島の中の役場・病院・公民館・その他色々ご迷惑も考えながらもトイレなどの状況を調べさせてもらいました。トイレ1つでもこんなに色々あるんだと思いました。これなら車イスでも大丈夫だと思ってモイザ車イスで試みるとダメだったり、健常者である自分達の中で思った事とのへだたりを思い知らされました。

これからもすこしでも無理せず、福祉の事にかかわっていききたいと思います。(まみばあ)



【作業所についての学習会】

1月16日安房総合センター2F会議室において、県福祉課の中村さんを講師にお願いし学習会を行いました。当日は身障協や手をつなぐ育成会、しゃくなげ会などの障害者団体と当事者、民生委員の方たち、行政側の担当者もあわせて43名の

松田生歩さんからのおたより



私が麦の芽に来て5月で1年になります。今住んでいる所はゆめ畑アパートで昨年2月にグループホームに認可されました。作業所は“ほっとたいむ”で主にピザを作ってます。仲間は私、西琢也君、村田まさふみ君、肥後久美子さん、スタッフでは東福さん。木曜日は交流作業でげんきやに行ってます。仲間は古野ひとみさん、春成かずき君、大村さん、今川さん、スタッフは中野さん、浜崎のりひろさん、神野直美さん、伊牟田靖宣さん。仕事内容はアルミ缶、スチール缶のリサイクルです。

月曜日と木曜日はホットパートナーが19時30分から20時30分まで入ってます。ホットパートナーとは話し相手という事です。じゃがいものうちに将来やってほしい事はアルミ缶とスチール缶のリサイクルかな。

【生歩さんの書いた麦の芽カレンダー表紙】



これはみんなへのメッセージなんだけど、これからいろんな事があると思いますけどがんばってください。応援してます。

(松田生歩)

「^{みず}屋久の水」スタート

じゃがいものおうち通信の前号で紹介いたしました地域通貨「屋久の水」が4月よりいよいよスタートいたします。

目的である、『屋久の水を循環させ、モノ、サービス、知恵、知識、技能の交流でお互いに助け合い、支え合い、心と心のふれあいと地域の活性化を目指す』。このことを基に人と人がふれあえる楽しい活動をしてゆきたいと考えております。

物やサービスの交換はもちろんのことですが、各自の持っている特技や趣味なども人から人へと伝わり、これから皆さんの暮らしの中で、おおい

に役だててくれることを期待しております。

地域通貨「屋久の水」を使ってみたいという方は、是非ご参加下さるようお願いいたします。

地域通貨「屋久の水」実行委員会より
ご意見ご感想、お問い合わせ

川上雄治

〒891-4406 鹿児島県熊毛郡屋久町平内319

TEL&FAX 0997-47-3359 携帯090-8941-4963

E-mail mailto:s-friend@land.linkclub.or.jp

URL <http://www1.linkclub.or.jp/s-friend/>

行事報告

年末餅つき大会(12月28日 保健センター)

年末お餅つき大会に参加して

リオのカーニバルのために、1年間働くブラジル人。そのブラジルから来た私は、もちつきのために一年間働いていると思える程もちつきが好きです。又、太古の昔からの年末行事に血が騒ぐのは、まぎれもなく私に日本人の血が流れている証拠でもあります。

杵をふりかざす人、もちをかえす人、そして一番大切な声援と拍手によって、バラバラだったもち米が一つのもちになります。それは「じゃがいものおうち」そのものです。自分の出来ることで参加します。こんな楽しいことが出来る屋久島、「じゃがいものおうち」

そして今の幸せに感謝して参加させていただいています。年末には、お腹が大きくなっているかもしれませんが、かえし手の役をもちつきの好きなあなたに、お譲りします。
(力もちの 沼田澄江)



新春茶話会(1月4日 拠点)



じゃがいも掘り (2月27日 尾之間)「神山小2年生PTA」の方々に参加して頂きました。

『神山小2学年PTAでじゃがいも掘りのお手伝いをしました』 私達はこの1年間「ボランティアに挑戦」という活動で、集落を探訪しながらゴミひろいをしています。

コンセプトは「楽しくボランティア」。子供達はゴミを見つけると、まるで宝物を見つけたかのように目がキラキラします。

「いい事するのって気持ちがいい」... 子供達の純な心に親の私達がハッとさせられます。今回、日程も重なったことで「じゃがいものおうち」のメインイベント(?)である、じゃがいも掘りのお手伝いをすることになりました。そこでまず「じゃがいものおうち」を知ってもらうために(2年生にもわかりやすく)水生輪とユウコが協議し、以下の様な質問応答形式で説明する事になりました。(Qはユウコ、Aは水生輪)

Q1:「じゃがいものおうち」って何をしている所?

A: う～ん難しい質問だなあ... 誰が来てもいいんだよ。誰でも集まっておやつを食べたり、お話をしたりして誰とでも仲良く出来る場所だよ。障害も年齢も仕事も国籍も も も関係なくどんな人とも仲良く出来る所だよ。

Q2: 掘ったじゃがいもはどうするの?

A: 「じゃがころ」にしてお祭りで売るんだよ。

Q3: 「じゃがころ」を売ったお金はどうするの?

A: 売ったお金でお菓子を買って、「じゃがいものおうち」でみんなでお話ししながら食べるんだよ。(笑) だからみんな遊びに来てね。それから屋久島には障害を持った人の働く場所が少ないから、障害を持った人でも安心して働ける作業場を作ろうなんて、みんなで話をしてるんだ。そのための資金として使われるんだ。

Q3: 「じゃがいものおうち」では他にどんなことをしているの?

A: タンカンジュースを作ったり、お祭りに出店したり、それに身体が不自由な人(お年寄りも含め)が安心して行くこと出来る場所の地図を作ったりしてるんだよ。

そして27日最高の天気の下、じゃがいも掘りが行われました。

学校のちっぼけな畑とは比べものにならない大きな畑を前に、ギョッとしようす(みんな素手で

掘り出すと思っていたらしい)

茎を引き抜いた後を、松田さんのマシーンで掘り起こされた土の中から、出るわ出るわイモイモイモ!それも「じゃがいものおうち」ブランドになりつつあったあばたイモではないのだ!その宝石の様なイモが目の前でザックザック掘り出され、子供達の目がまたもキラキラ輝いた。その輝きがため息に変わったのも早かったが(笑)

「たくさんとれたのでびっくりした」

「疲れたけど楽しかった」

「おみやげたくさんもらってうれしかった」

モッチョム岳に見守られ、子供達の笑顔もすがすがしく心地よい疲れをいただいたボランティアでした。



(以下ユウコのひとりごと)

私がちょうど2学年の役員をしていたこともあって、じゃがいも掘りに参加させていただきました。想像以上の大豊作でしたが、予定通り午前中で作業を終了することが出来ました。しかしこれは2年生の子供達、先生、PTAのみなさんのおかげです。「じゃがいものおうち」のメンバーの参加が少なかったことをとても残念に思いました。みなさん、本当にありがとうございました。お疲れ様でした。

P.S. 去年の今頃拓也が学校に行けなくなりました。心身共に疲れた拓也や私を「じゃがいものおうち」の皆さんに支えていただいた事を思い出します。去年の4月に沖縄の公立の中学校に転校し、この一年間無遅刻、無欠席でバリ元気(最近はその言うらしい)に通っています。寮の生活もとても楽しいそうです。おかげさまで拓也復活です。(スズキユウコ)

じゃがいも掘りに参加

組織の年間活動の中で「じゃがいものうち」の活動に参加でき、2月28日に実施させて頂き有り難うございました。「じゃがいも掘り」では会員の方やボランティアの皆さんが一つの目的の為に男女が楽しそうに汗を流す活動と一緒に参加出来

たことは嬉しいです。一人ひとりにでもご苦労やお話を聞きたかったのですが残念ながら話をすることが出来ませんでした。これからも、「じゃがいものうち」との関わりも大事にして、ご意見やお話を聞きたいです。
(永綱敏文)

タンカンジュース作り (2月27日～3月2日 ポンタン館)

タンカンジュース作りは今年で3年目を迎えます。出荷できない小さなタンカンジュースにすれば売れるのではと初めて作ったのが昨年。その年は会員専用で販売はしていませんでした。保健所で許可を受けて商品として販売したのが昨年、思いのほかたくさん出来たので3回に分け、途中からこのジュース作りは資金集めの為だけではなく、作業所を見据えて、働いてくれる人達に労賃を出しました。そして今年には目標3000本を目指して第一回目の作業が終わったところです。今年には作業所により近づく為に実際の作業に障害を持つ方達に毎日出てもらってます。ふだんの生活と違い少し疲れ気味になりましたが、「また来る」と嬉しそうに言ってくれ、活動出来る場の必要性をあらためて感じさせられました。

ジュース作りには今回3日、次回3日、ラベル貼り、箱詰め3日、合計9日ほど働く事が出来ます。その他農作業や木工作業を増やして行き、出来れば1年を通じて毎日通えるようになればと思うところです。それと文化的な活動も取り組む必要があります。ジュース作りのときのお昼休みは、お弁当を食べ終わるとすぐに歌や踊りが出て、おひるの演芸ショーさながら皆を楽しませてくれました。私達にない天性の才能を、ぜひ活動の場に取り入れたいものです。そんなこんなジュース作りでした。



何かに挑戦する事は、おもしろいです。おもしろそうと思う人！あつまれ～！

(楯)

行事予定

タンカンジュース作り【2回目】

日時 3月12日(土)～14日(月)
9時～4時
場所 ポンタン館
持ち物 お弁当(12日はお弁当がでます)
、長靴、前掛け、帽子(清潔な服装)

じゃが芋の箱詰め

日時 3月15日(火)9時～
場所 楯家
持ち物 弁当、軍手、マスク

スプリングキッズ【子供達の進学と進級を祝う会】

日時 3月21日(月)10時
場所 「じゃがいものうち」
持ち物 お弁当

産業祭(4月29日)出店準備

(ジャガコロの下ごしらえ)

日時 4月28日(木)1時30分
場所 「じゃがいものうち」
持ち物 包丁

新会員紹介

平内「海友」の川上雄治さん 皆さんよろしく。

感謝録

(五十音順 敬称略)

有川陽子 稲葉輝雄 江崎重明 大久保芙美子
クリスチャン幼稚園 古賀顕司 佐々木澄江
社協(共同募金会) 鈴木ゆかり・金子
高見沢義雄 楯陽子 ネリ・シンシア
日高貴見 日高知子 藤山幸彦 松永弥生
満園清子 ありがとうございました。

編集後記

「じゃがいものうち通信」に興味ある方、口を出したい方は、編集に参加して貰いたいです。屋久島にも珍しく雪が降りました。体調に気をつけましょう。皆さん、「じゃがいものうち」に遊びに来て下さい。
(楯・丸山)